

2026 年 1 月 27 日

一般社団法人 電子情報技術産業協会
事業推進部

JEITA 「IoT 向けエネルギーハーベスティングの動向と標準化セミナー」ご案内

デジタルトランスフォーメーションの本格進展、次世代移動通信の普及、そしてネットゼロ実現に向けた取り組みの加速により、私たちを取り巻く産業環境は大きな転換点を迎えています。さらに欧州バッテリー規制をはじめとする国際動向も踏まえ、エネルギー供給の在り方そのものが見直されつつあります。JEITA では、将来のエネルギーハーベスティングに関する技術動向調査および標準化活動を推進してきました。その一環として、IoT 社会を支える「独立電源」としてのエネルギーハーベスティング技術について、最先端の知見を共有し、産学官が議論を深める場として、本セミナーを開催しています。8 回目となる今回は、各分野で先端研究・開発を担う第一人者の方々をお招きし、最新のエネルギーハーベスティング技術の動向、社会実装に向けた応用可能性、普及拡大に不可欠な標準化の方向性など、多角的な視点からご講演いただきます。技術トレンドの把握はもちろん、自社の今後の取り組みに役立つ示唆を得られる絶好の機会です。

JEITA 会員企業はもとより、本テーマに関心のある多くの方々に是非参加頂きますよう、ご案内致します。

日 時：2026 年 2 月 24 日(火) 13：00～17：15

場 所：(社) 電子情報技術産業協会 402 会議室

東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル 4 階

※ 今回は、ハイブリッド開催となりますので、オンライン参加も受け付けます。

※ 会場参加者には、入退館に必要な QR コードを発行致します。

■ 申込サイト：<https://www.jeita.or.jp/form/custom/462/form>

■ 主 催：ナノエレクトロニクス標準化専門委員会／ナノ・有機発電デバイス標準化 G

■ 共 催：エネルギーハーベスティングコンソーシアム

■ 参 加 費：3,000 円（資料代・消費税含む）

■ 参 加 定 員：①会場参加 40 名（定員になり次第締め切ります）。

②オンライン参加には定員はございません。

■ 申 込 方 法：上記申込サイトからお申し込み下さい。

お申込み頂いた方には、開催後、電子請求書を送付させていただきますので期日までに
お振込下さい。

■ 申 込 期 限：2026 年 2 月 17 日(火)

■ 事 務 局：一般社団法人 電子情報技術産業協会 事業推進部（布川・澤田）

E-mail tsc4@jeita.or.jp

■■プログラム■■

13:00【開会挨拶・趣旨説明】

奥 良彰 JEITA ナノエレ標準化専門委員会／
ナノ・有機発電デバイス標準化 G 副主査
ローム(株) 研究開発センター 副センター長

13:05「国際規格化とビジネス開拓」

豊田 充 氏 東芝エネルギーシステムズ株式会社
浜川崎工場 開閉装置部 元技監

概要：製品を海外市場で販売していくには、IEC 規格にその製品が規定されていることは極めて重要です。高電圧大容量の変圧器のカテゴリーにおいて、絶縁及び冷却を従来の油からガスに変更した製品に関する IEC 国際規格が存在していなかったため、これをどのように提案し、どうやって制定していったか、その結果、どのような成果が得られたかについて、お話しします。

13:55「わずかな動きで発電する電磁誘導環境発電技術の開発

～環境発電の社会実装を目指して～

武舎 武史 氏 三菱電機株式会社 先端技術総合研究所
センサ情報処理システム技術部 主席研究員

概要：当社では、特殊な磁性材料にコイルを巻回した発電素子と磁石などの磁気回路を組み合わせることで、わずかな動き(軽い力や遅い動き)で発電可能な電磁誘導環境発電モジュールの開発を行っている。その特徴と社会実装に向けた適用先の例についていくつか紹介するとともに、簡単な実機デモを行う予定です。

14:45「カーボンナノチューブの糸を用いた熱電変換技術とその応用」

山口 敦 氏 株式会社東海理化 生技開発部 主任

概要：東海理化が進めるカーボンナノチューブを用いた熱電発電技術の事業化への取り組みを紹介し、これまでのエネルギーハーベスティングの成果と、今後の応用展開についての展望を示します。

15:35「超薄型・小型リチウムイオン二次電池 EnerCera（エナセラ）とその用途展開」

田中 立 氏

日本ガイシ株式会社 NV 推進本部 DS 事業開発

バッテリーアプリケーション マネージャー

概要：日本ガイシが開発・商品化した EnerCera®（エナセラ）は、超薄型・小型を特徴とするリチウムイオン2次電池です。今回は形状、安全性や特性などの特徴を説明するとともに、採用例、検討例を交えながらその用途展開についてお話しします。

16:25「MEMS エレクトレット振動発電デバイスの社会実装」

三屋 裕幸 氏

株式会社鷺宮製作所 R&D センター

第1開発部開発1課 課長

概要：MEMS エレクトレット振動発電デバイスに関する基礎研究から応用開発、さらに製品化に至るまでの一連の取り組みについて紹介します。デバイス構造やエレクトレット形成技術、信頼性評価などの要素技術に加え、実環境におけるエネルギーハーベスティング性能の検証結果について述べます。また、イベントドリブン型センサへの応用や社会インフラ分野への展開事例を通じて、社会実装に向けた課題と可能性について講演します。

17:15 終了

※ プログラムは変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。